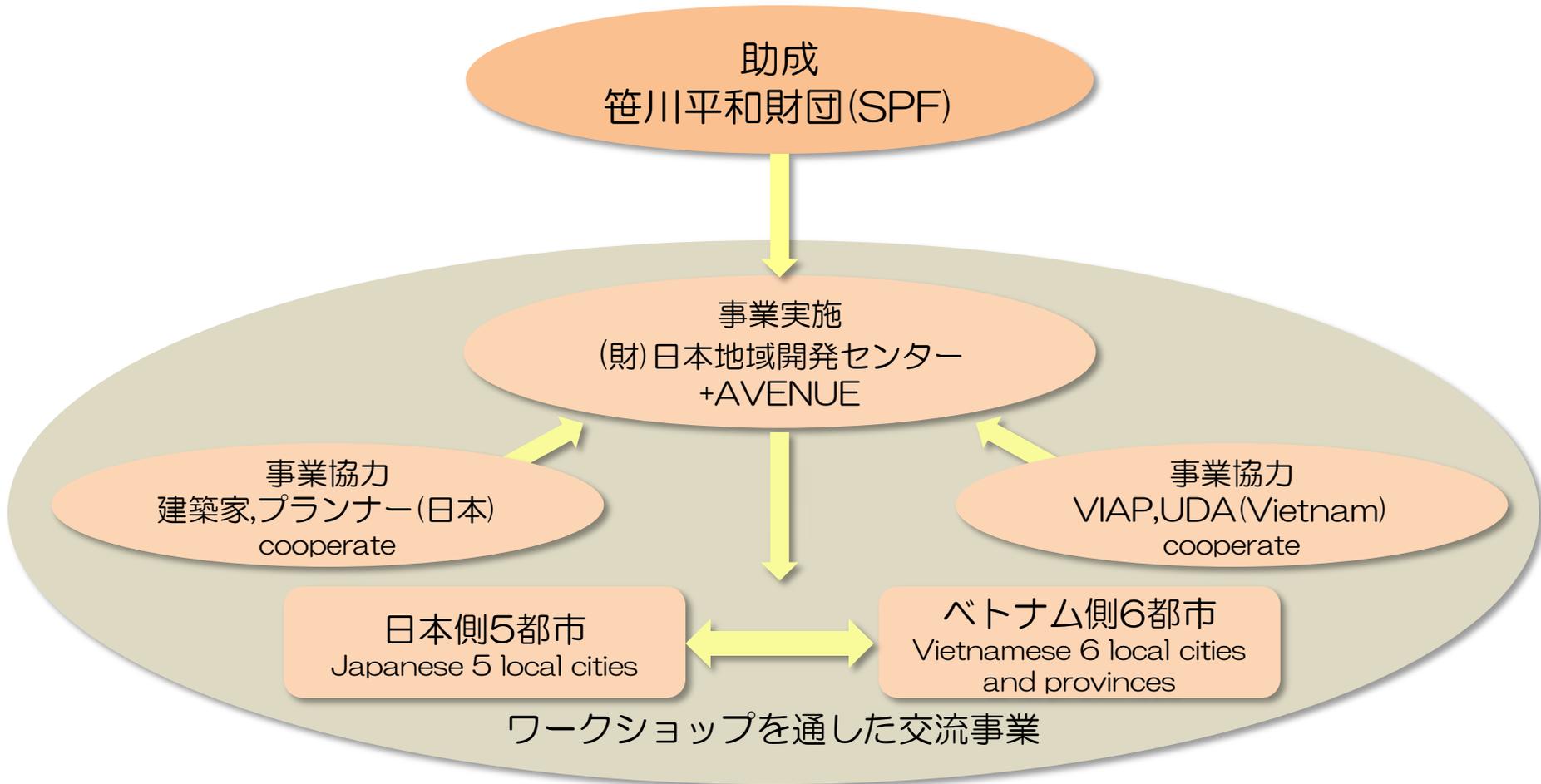


(財)日本地域開発センター + 特定非営利活動法人 AVENUE
笹川平和財団(SPF)助成事業

事業概要



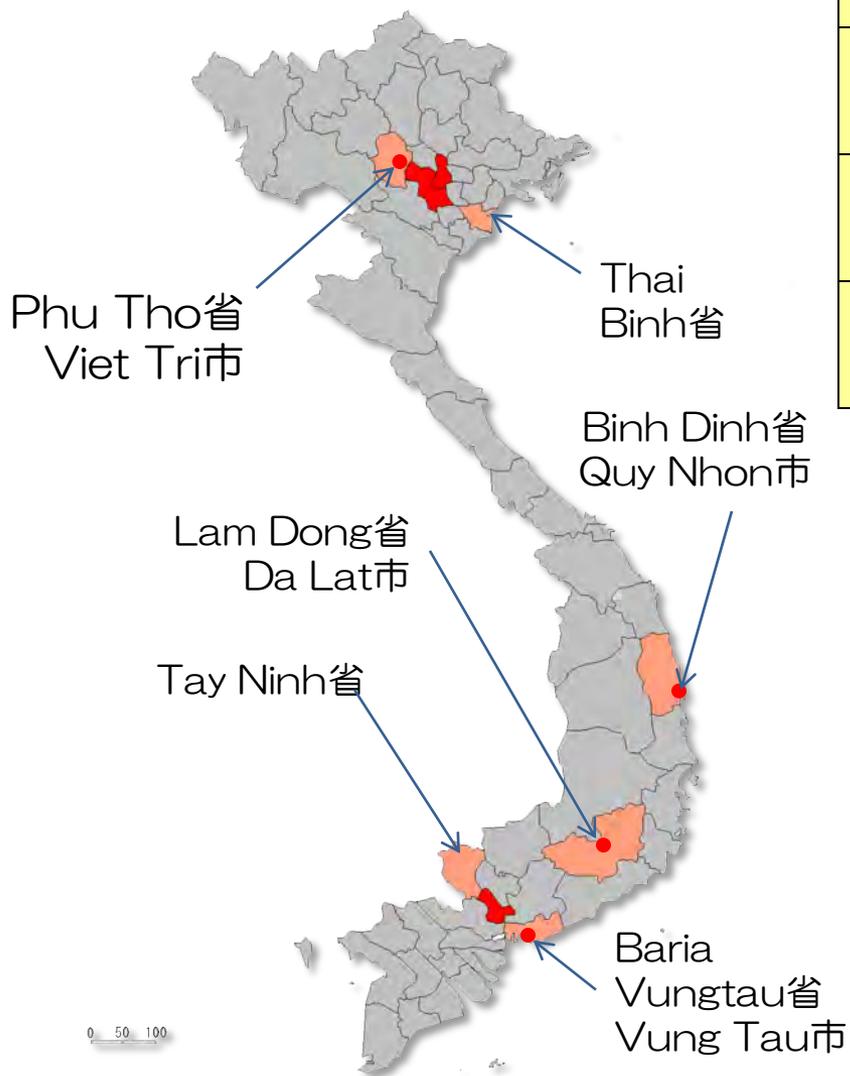
AVENUE: ベトナム事業を支援するNPO

VIAP: ベトナム建築・都市・農村計画研究所(旧NIURP 越建設省傘下の計画,設計組織)

UDA: 都市開発機構(越建設省傘下組織)

交流対象地

ベトナム全土よりレベル2以下(中規模)の特色ある地方都市や省を6か所選定し、これらの都市や省に類似性、関連性があると考えられる日本の地方都市を選定。



	ベトナム側対象地	日本側都市
1年目	Phu Tho省 Viet Tri市	奈良県 橿原市
	Thai Binh省	福島県 いわき市
2年目	Binh Dinh省 Quy Nhon市	福岡県 北九州市(環境局)
	Lam Dong省 Da Lat市	山梨県 富士河口湖町
3年目	Tay Ninh省	福島県 白河市
	BaRia VungTau省 Vung Tau市	福岡県 北九州市(建築都市局)

交流都市の組合せ



事業スケジュール

■2006年5月に候補としたベトナム地方都市を歴訪し、事業参加の意思を確認。

■日本側都市を選定

■2006年度後半から事業を開始、1カ年に日越2都市づつ、3カ年で計6都市同士の交流事業を行った。

■各交流都市ごと、原則ベトナムの地方都市で2回、日本の地方都市で1回、計3回のワークショップを開催した。

独自交流プログラム
財源確保の問題 (SPF, JICA等の資金援助)
JCADR, AVENUR, VIAPUDA等の支援

第3回ワークショップ(@越側地方都市)
テーマの詳細な議論、今後の交流等の検討

第2回ワークショップ
(@日本の地方都市)
テーマに基づく視察、意見交換

第1回ワークショップ
(@ベトナムの地方都市)
相互理解、論点の確認

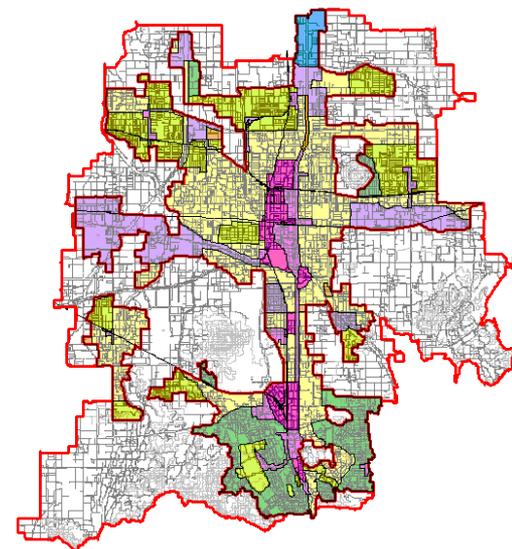
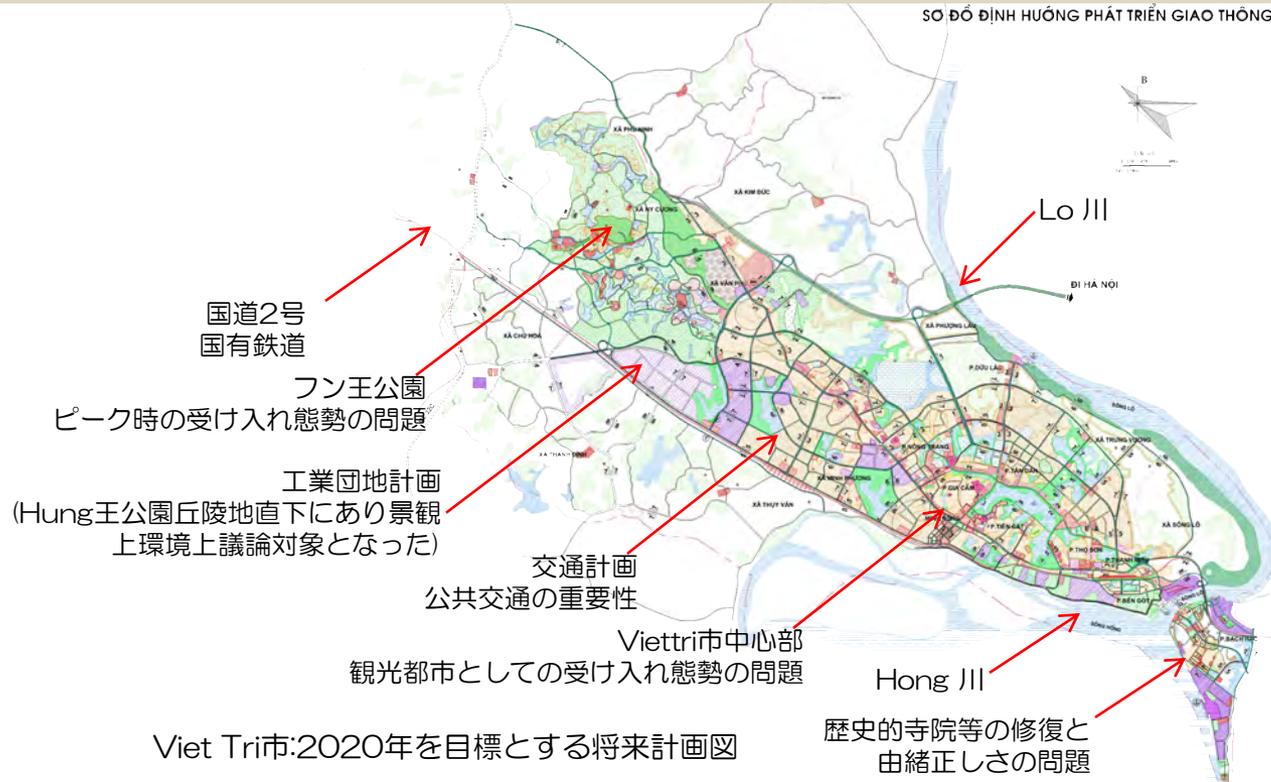
ワークショップの基本スケジュール、テーマ

		January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December
2006	Viet Nam											1	
	Japan					Pre-survey					Viettri	Thaibinh	
2007	Viet Nam	2	2						1	Kitakyushu	Fujikawaguchiko		
	Japan	Viettri	Thaibinh			3	3	Quynhon	Dalat		2		
2008	Viet Nam	3				Iwaki	Kashihara		1			2	3
	Japan	Quynhon	Dalat					Vungtau	2.1		Tayninh	Vungtau	
2009	Viet Nam									Kitakyushu	Shirakawa		
	Japan		Hanoi										

3カ年の事業全体のスケジュール

Phu Tho省 Viet Tri市 - 奈良県 橿原市 テーマ：観光祭礼都市と地域振興

SO ĐỒ ĐỊNH HƯỚNG PHÁT TRIỂN GIAO THÔNG



橿原市:土地利用計画図

Viet Tri市:2020年を目標とする将来計画図

歴史的寺院等の修復と 由緒正しさの問題

	Phu Tho省 Viet Tri市	奈良県 橿原市
位置	ハノイの北西80km. Hong川、Lo川の合流地	大阪の南東30km、奈良盆地の南部分
面積(km2)	102	39.5
人口	168,000	125,600
おもな産業	農業、工業	サービス業、観光業
特徴	紀元前2800年頃、ベトナム建国の礎伝説のVanLang国初代Hung王の陵墓があり、旧暦3月10日の命日には全国から300万人が参拝に訪れる。Hong川、Da川、Lo川が合流する、かつての交通の要衝	紀元前660年、初代天皇である神武天皇建国の地として知られる。694年日本初の都である藤原京が置かれた
史跡、名所等	フン王史跡公園 Dong Son文化遺跡群 寺院等	橿原神宮、藤原京跡、古墳群 大和三山 今井町(16世紀の歴史的街並)
課題	1960年代以降、さらにドイモイ以降も工業発展を目指していたが、公害問題が深刻であり、新たに”観光と祭礼都市”としての発展を目指している。有形無形の文化財発掘、観光資源としての開発を推進している。	観光入れ込み人数に対して、宿泊客が少なく、新たな観光受け入れを模索している。 今井町の歴史地区の保存と活用
おもな交通網	Noi Bai空港から50km、国道2号、国有鉄道、Hong川の水運	関西国際空港、JR線、近鉄線、高速道路
ワークショップにおける主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ●観光振興について、工業化との共存 ●歴史的遺産の保存、修復およびその活用、都市計画との整合性について ●祭礼実施とコミュニティについて 	



■第1回ワークショップ

(Viet Tri市06年11月) 榿原市から企画調整課長以下2名訪問、NIURPより2名参加
Hung王史跡公園、寺院、Hung王博物館等の視察、Viettri市、榿原市の概要、都市
計画等それぞれの紹介



Hung王公園の視察

■第2回ワークショップ(Viet Tri市 07年1月)

第1回ワークショップでの論点から榿原市が教育委員会の遺跡部門の専門家など2名を
派遣、NIURP1名 Hung王史跡、寺院等視察、遺跡修復の由緒正しさ(authenticity)
の問題、フン王史跡公園に至近の位置での工業団地計画の問題などを議論



■ Viet Tri市の招待に応じ旧暦3月10日フン王命日に参拝する安曾田榿原市長(当時)およびSPF河野理事
事(07年4月)300万人の参拝を目の当たりにする。



■第3回ワークショップ(榿原市 07年6月)

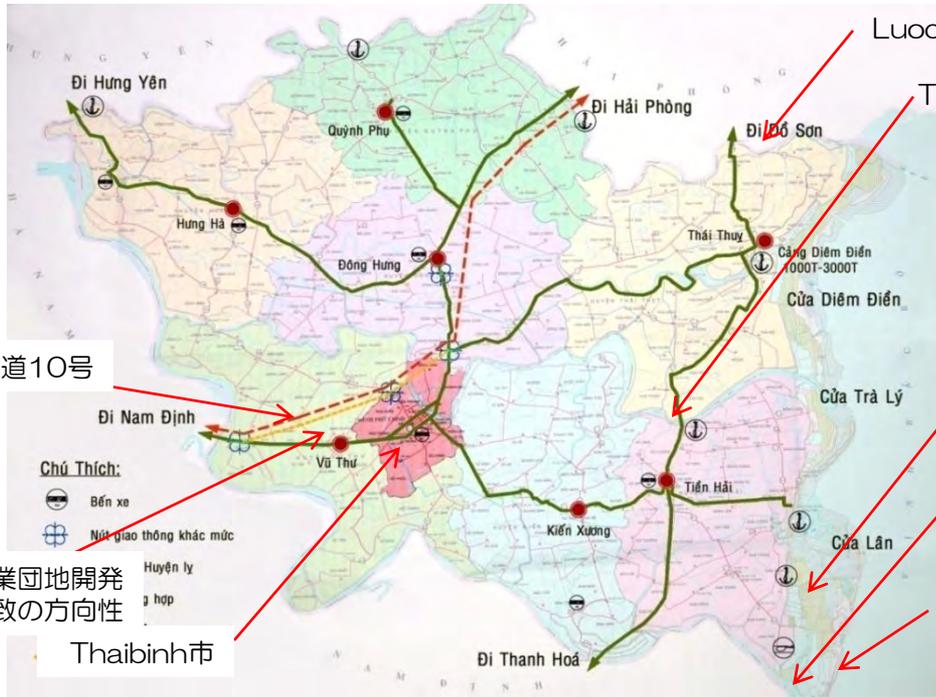
Viettri市人民委委員長以下2名来日
榿原神宮、今井町等視察
榿原市と榿原神宮の有り様などについて質疑、意見交換



■ Viet Tri市訪問団の榿原市訪問(08年10月)
市人民委副委員長以下3名来日(自費渡航+滞在費支援)
榿原神宮、伊勢神宮等視察
森下市長と今後の交流について協議

Thai Binh省-福島県いわき市

テーマ：産業構造の転換、企業誘致、教育交流



	Thai Binh省	福島県 いわき市
位置	ハノイの南東100km、Hai Phongの南70km、Hong川河口	東京の北210km、福島県南東端で太平洋に面する
面積(km ²)	1545 (Thai Binh市 43)	1,231
人口	1,843,000 (Thai Binh市 135,000)	360,000
おもな産業	農業、養殖などの水産業、伝統工芸	工業、サービス業
特徴	Hong川河口の平坦な土地(海拔1-1.5m程度)を利用した農業地帯であり、 蝦、牡蠣などの養殖も盛んである。 海岸にはラムサール条約の湿地がひろがる。 集落ごとのキリスト教会、水上人形劇発祥の地	かつて常磐炭鉱が市内全域に広がっていた、小名浜港の水産業、海運 5市の対等合併 炭鉱から観光産業、工業への転換
史跡、名所等	Keo寺院(11世紀建立) Dong Chau海水浴場	湯元温泉郷、スパリゾートハワイアンズ アクアマリン福島(県立水族館)
課題	もともと純農村地域であるが、工業化を推進しており、企業誘致を推進している。ビール工場など地元資本の産業も育ちつつあるが、外国資本への依存も大きい。	石炭産業の衰退とともに、産業構造の転換を図り工業都市として発展してきた。
おもな交通網	国道10号	JR常磐線、常磐自動車道、小名浜港
ワークショップにおける主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ●産業構造の転換、農業の改善 ●企業誘致 ●ごみ処理、排水処理について 	

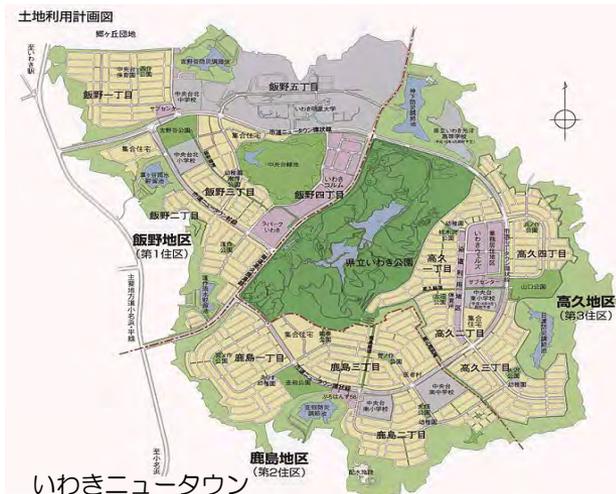
■第1回ワークショップ(ThaiBinh市06年11月)
いわき市企画調整課などより2名訪越
NIURP1名参加



■第2回ワークショップ(ThaiBinh市07年2月)
いわき市農業水産課などより2名
+東日本国際大学大川教授訪越
NIURP1名参加



■第3回ワークショップ(いわき市 07年5月)
Thaibinh省人民委副委員長以下3名
+NIURPより1名来日
(地元企業より民間人1名自費参加)



工業団地、日本からの進出企業工場、伝統刺繍工房等の視察
いわき市の変遷と産業構造の転換について紹介
Thaibinh省の産業振興の方向性について紹介

Thaibinh市内の大学視察

ハイテク農園視察

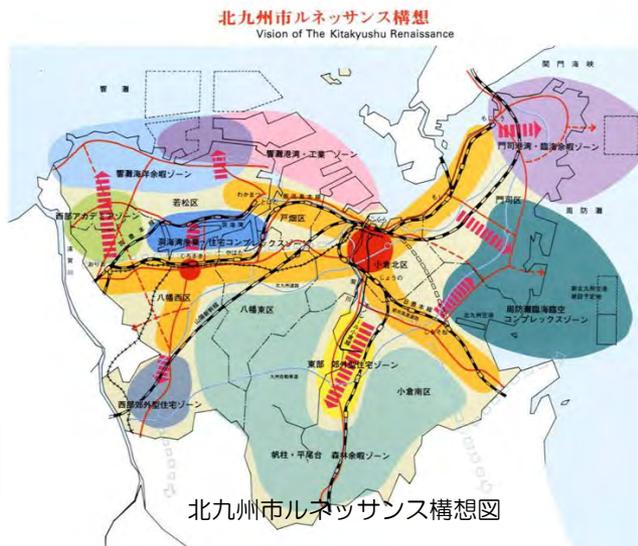
ハイテク農園、工業団地、宅地開発、大学キャンパス
ごみ処理施設、スパリゾート等の視察
市庁舎、商工会議所における意見交換

■第1回ワークショップ (QuyNhon市07年8月)
北九州市環境局より3名訪越 (1名自費)
NIURP1名参加



地元資本石材工場の視察

■第2回ワークショップ (北九州市 07年9月)
Quynhon市人民委委員長以下2名来日



北九州市ルネッサンス構想図

■第3回ワークショップ (QuyNhon市 08年1月)
北九州市環境局、建築都市局などより3名訪越
(1名自費) NIURP1名参加



ごみのたい肥化実験集落の視察



家具、石材等地元企業の工場、Nhonhoi経済区等の視察
北九州市の都市計画、公害克服の歴史などについて解説
Quynhon市の産業振興の方向性について解説
意見交換



響灘の環境施設の視察

ごみ処理施設、コンテナ港湾施設、工業地帯等の視察
意見交換



港湾管理事務所、廃棄物処理施設
ごみたい肥化実施集落等視察
企業誘致と環境保全、住環境改善、人材育成などについて
北九州市への支援要請および議論。北九州市側からの
支援について、その財源の問題が浮上した。

Lam Dong省 Da Lat市-山梨県 富士河口湖町

テーマ：観光、農業、自然環境の活用と保全、施策

Da Lat市周辺部農地
農業と観光農業の方向性



Da Lat市中心部
住民移転問題
フランス時代の建築保
存およびその活用問題

Tuyen Lam湖
観光開発と環境保全問
題

Dalat市行政区分図



富士河口湖町の将来イメージ

	Lam Dong省 Da Lat市	山梨県 富士河口湖町
位置	ホーチミン市の北東300km、標高1500mの高原	東京の西80km、富士山北麓
面積(km2)	391	159
人口	190,000	25,900
おもな産業	野菜、花、果物など高原農作業およびそれらの加工産業、観光産業	観光産業、観光農業
特徴	標高1500m、年間平均気温18-23℃の高原観光都市、1893年フランス人医師が見出し、避暑地として発展がはじまった。	富士山と湖の観光都市
史跡、名所等	教会、師範学校、駅舎、1900棟の別荘などフランス時代の伝統建築 Huong Xuan湖、Tuyenlam湖、Prenn滝などの自然観光地区 市中心部のゴルフコース	富士山、河口湖、西湖、本栖湖、精進湖、青木が原樹海 温泉、観光施設 体験農業、美術館博物館
課題	湖、滝、山など変化に富む自然環境とフランス時代の駅舎、師範学校、ヴィラなどの文化遺産を活かして観光都市として発展している。 高原性の気候を活かして、森の中の都市、教育文化都市、シニアコロニー計画、ハイテク産業誘致観光、農業など様々な発展ビジョンを持っている。 市中心部の観光開発のための住民移転問題。	近年は外国人観光客の受け入れにも力をいれている。 ハーブフェスティバルなど様々なイベントや祭りを開催している。 観光客受け入れのためのコンセプトづくり 官民一体の観光プロモーション
おもな交通網	高速道、国道、Lien Khuong空港	中央自動車道、国道、富士急行鉄道
ワークショップにおける主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ●インフラ整備 ●観光政策、観光振興、農業の観光への活用 ●湖の活用、管理、森林保全など ●両市の情報交換、MOU締結 	

■第1回ワークショップ(DaLat市07年8月)
 富士河口湖町観光課より2名訪越
 NIURPより1名参加



農園の視察

農場、農産品加工施設、市内観光施設等視察
 Dalat市の概要、発展計画、観光施策、フラワーフェスティバルなどについて説明
 富士河口湖町の概要、観光施策、官民共同の観光プロモーション、イベントなどについて説明

■第3回ワークショップ(Da Lat市 08年1月)
 富士河口湖町観光課長以下2名訪越
 NIURP1名参加
 農産品加工施設、周辺観光施設等視察
 今後の交流の議論、MOU締結



青木が原樹海、コウモリ穴の視察

■第2回ワークショップ(富士河口湖町 07年9月)
 Dalat市人民委副委員長以下2名+NIURP1名来日
 ハーブ園、花卉栽培農家、各種観光施設、湖等視察
 富士河口湖町の各課各部署の取組の紹介
 山梨県知事表敬訪問

■MOUに基づき富士河口湖町ハーブフェスティバルに
 Da Lat市のブース設営(人民委副委員長来日)
 (08年6月)



Baria-Vungtau省 Vung Tau市-福岡県北九州市

テーマ：工業と観光の両立、住環境の改善

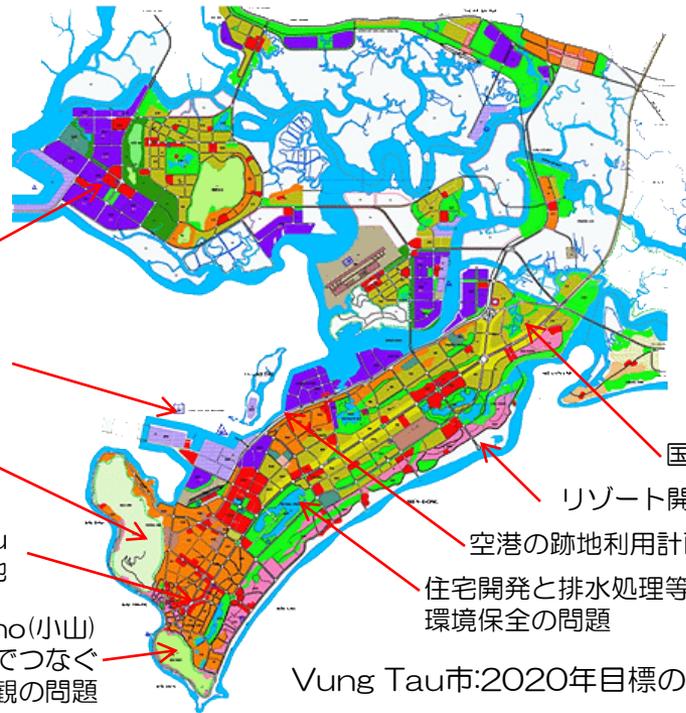
Lon Song島
石油コンビナート計画
水産加工場などの移転

新港計画

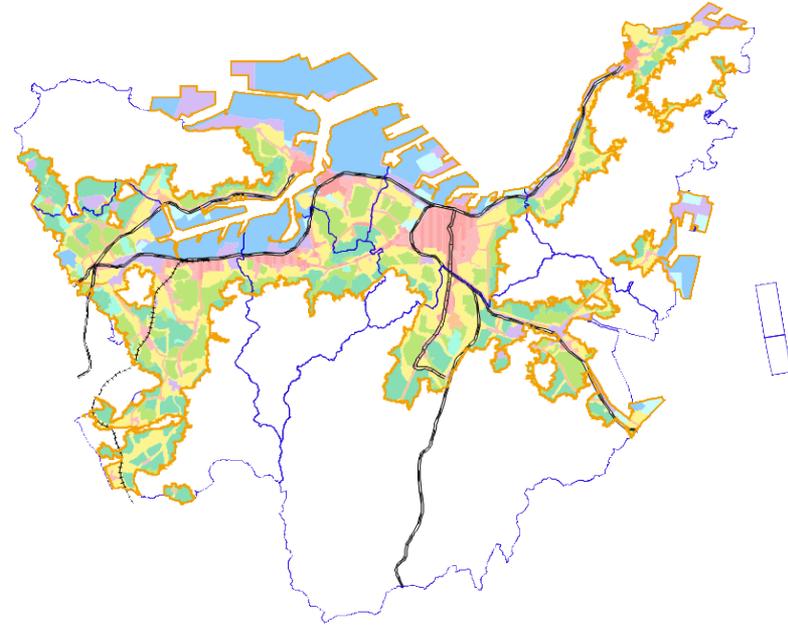
Nui Lon(大山)
レジャー開発計画
が進行中

Vung Tau
旧市街地

Nui Nho(小山)
大山とロープウェイでつなぐ
レジャー開発計画と景観の問題



Vung Tau市:2020年目標の将来計画図



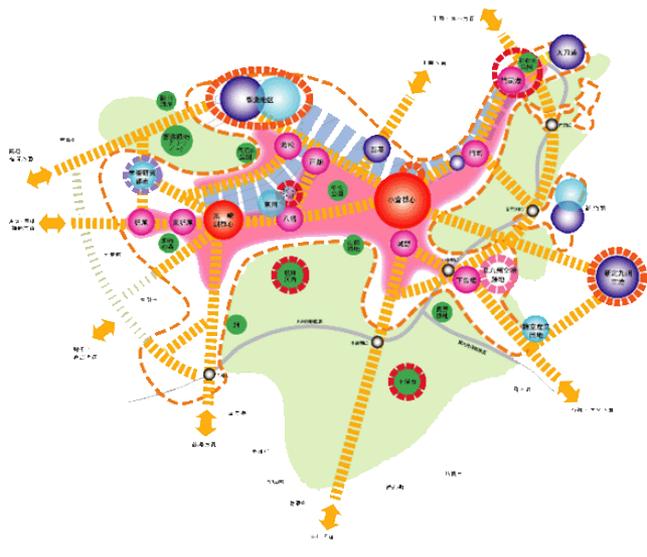
北九州市:用途地域図

	Baria Vungtau省 Vung Tau市	福岡県 北九州市
位置	ホーチミン市の南東100km、Nha Be川の河口、太平洋に面す	福岡市の東の60km、関門海峡で本州に隣接する九州の玄関口
面積(km2)	140	487.7
人口	300,000	985,000
おもな産業 特徴	観光産業、漁業、石油精製工業 ホーチミン市のリゾート都市 フランス時代の巨大キリスト像	鉄鋼産業、自動車産業、港湾、観光 日本初の鉄鋼業、公害の克服、港湾、関門海峡 門司港歴史地区
史跡、名所等	大山、小山 砂浜海岸	小倉城 関門海峡、若戸大橋
課題	Hochiminh市からの交通の便、将来国際空港の隣接など有望な都市である。国の施策である、石油精製工業とともに水産加工など地場産業の育成、港湾、海洋リゾートなど豊かな環境を活かして産業の振興を図りつつある。	公害問題を克服し、今日の発展がある。自動車産業の積極誘致をはかった。港湾、海運についてアジアの港湾都市と競合 人口の高齢化の問題
おもな交通網	国道51号、ホーチミン市との高速船	山陽新幹線、JR線、モトル線、北九州空港、港、高速道路
ワークショップに おける主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ●観光と工業の両立、観光振興 ●リロケーション ●既存計画の見直し ●水質改善 	

■第1回ワークショップ (VungTau市 08年8月)
北九州市建築都市局より理事以下2名訪越
ホーチミン交通大学,SIUP,NIURPより各1名参加



■第2回ワークショップ (北九州市08年8月)
Vungtau市より人民委副委員長以下4名
+VIAPより1名来日
(地元企業と省人民委より各1名自費参加)



■第3回ワークショップ (VungTau市 08年11月)
北九州市建築都市局より部長以下2名訪越
ホーチミン交通大学, SIUP, VIAPから参加



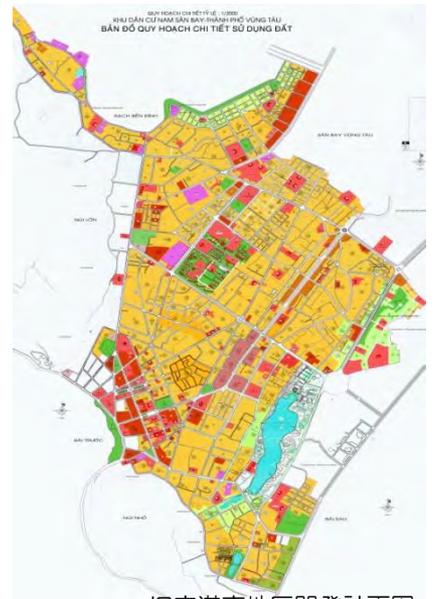
住宅開発地の視察

住宅開発地、漁港施設、進出日本企業等視察
Vungtau市の発展計画等について紹介
北九州市の発展の歴史、概要について紹介



港湾施設の視察

再開発事業地、港湾施設、歴史的地区、モール等視察
北九州市の都市計画等について質疑
次回の詳細テーマについて討議



旧空港南地区開発計画図

排水施設、水質が問題の沼
大山の開発会社、宅地開発地等視察
Vungtau市の発展計画について、
北九州市側からの意見および討議

Tay Ninh省 - 福島県白河市 テーマ：農産物を活かした産業振興、企業誘致、都市計画ビジョン

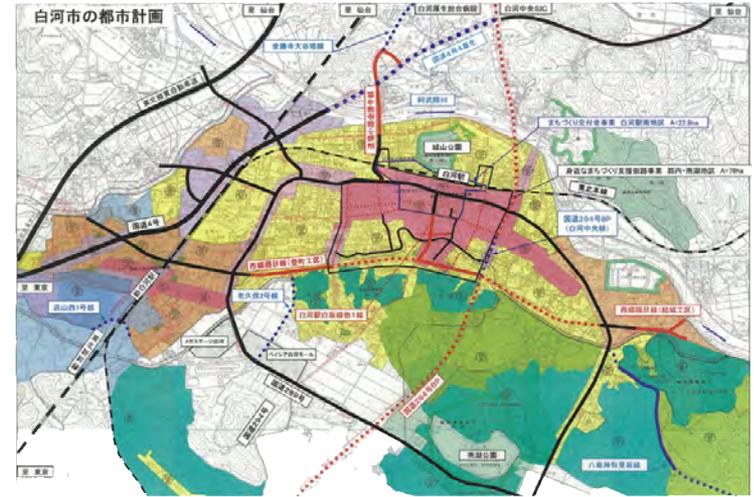
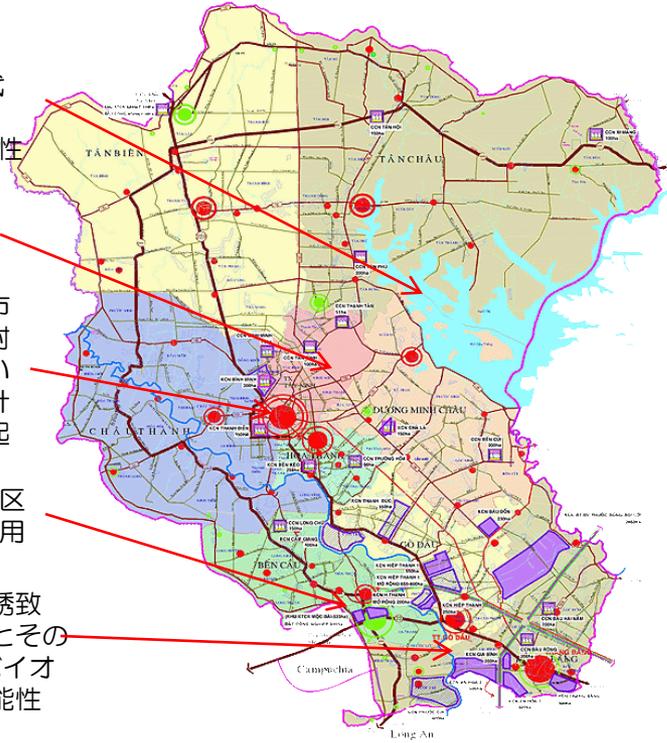
Dau Thien湖 (Saigon川源流の人造湖 1980年代世銀の援助により築造) リゾート開発計画の方向性

Ba Den山 (観光開発)

Tay Ninh市 密度のあまりない市域に対し、コンパクトなまちをいかにつくるかという都市計画ビジョンの問題提起

Moc Bai国境経済特区 経済的潜在力の利用

工業団地開発、企業誘致 周辺の豊富な農産物とその加工産業、CDM、バイオマス等への利用の可能性



白河市:都市計画図

	Tay Ninh省	福島県 白河市
位置	ホーチミン市の北西100kmの内陸部、カンボジアと国境を接する	東京の北185km、福島県南部、阿武隈川の最上流部
面積(km2)	4035(TayNinh市 122)	305
人口	1,047,000 (TayNinh市 140,000)	65,400
おもな産業	ゴムなどの農業およびそれらの加工産業、国境貿易産業	工業、サービス業
特徴	ホーチミン市とカンボジアのプノンペン市との中間に位置し、国境沿いに2か所の国境経済特区がある。Cao Dai教(新興宗教:1919年~)の総本山	東北地方の玄関とともに、新幹線、高速道など交通の便を活かし環首都圏地域としての位置づけ。周囲を山に囲まれた内陸部の歴史ある城下町。
史跡、名所等	Dau Thien湖、 Ba Den山、 Lo Go-Xa Mat自然公園 Cao Dai教の聖地、チャンバ遺跡 ベトナム戦争当時の旧南ベトナム解放戦線司令部	小峰城、南湖公園 白河の関
課題	ゴム、キャッサバ、サトウキビ、カシューナッツなど豊富な農作物を活かして工業育成につとめている。BaDen山などの自然環境活用をめざす。一部産業廃棄物のCDM事業化を目指しているが、十分ではない。 広大な地域をいかに計画するかというビジョンの問題	新幹線、高速道路など恵まれた交通条件を活かした発展計画。雇用確保と企業誘致。
おもな交通網	国道22号	東北新幹線、JR東北線、国道4号、東北自動車道、福島空港
ワークショップにおける主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物と産業振興および工業化、観光振興、企業誘致、国境貿易産業 ●人材育成 ●廃棄物処理、情報交換 ●まちづくり、都市計画ビジョンの問題、用地立ち退き問題 	

■第1回ワークショップ(白河市 08年8月)
Tay Ninh省より省人民委委員長以下2名来日



史跡公園、ゴム工場等視察
白河市の概要紹介
Tay Ninh省の概要紹介

■第2回ワークショップ(Tay Ninh市 08年11月)
白河市より産業課長以下2名訪越
ホーチミン交通大学、SIUP(VIAPの南部支所)もVIAPとともに参加



サトウキビ工場の視察



福島県佐藤知事表敬訪問
(福島市 08年8月)



Baden山、Dauthien湖、製糖工場、旧南ベトナム解放戦線司令部
キャッサバ澱粉工場のCDM事業の現状等視察
白河市の発展における自治体や法制度の役割等、諸問題について質疑、討議
Tay Ninh省発展の潜在力について議論



旧南ベトナム解放戦線司令部の視察

2009年2月ハノイ会議

- 檀原市長をはじめとする日本側地方都市およびベトナム各参加都市、全11都市から担当者がハノイに集まり、2009年2月17-18日の2日間にわたって、事業の成果、今後の交流などについて話し合った。
- 各都市の他、日本大使館、ベトナム建設省(副大臣)、同傘下の建築都市農村計画院、ベトナム都市計画家協会など各方面から参加。

